

The Hands-On Times

アリーナ避難所「情報班」活動報告号 **ハンズオンタイム vol.11**

特定非営利活動法人ハンズオン!埼玉 TEL&FAX048-834-2052 〒330-0063さいたま市浦和区高砂2-10-6



アリーナでは高校生、大学生の方が活躍。情報班メンバーから「一言をもらいました抜粋」

地元加須市の良所再発見ができました！友人の紹介でボランティアに参加しました。少し加えました。少し加えました。少し加えました。

「いや、おめさま、な...浜の方の言葉とは違うかもですね？」

私は安達郡岩代町で生まれ福島市で成人して茨城に嫁ぎ、一二年前に原

あった東海村のすぐそばで子育てして、近年はさいたま市で働いていたハンズオン会員です。

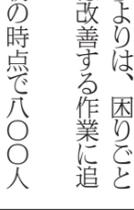
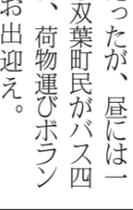
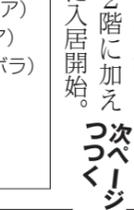
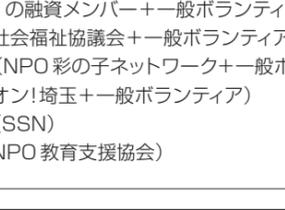
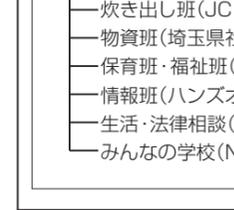
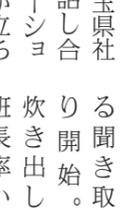
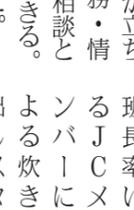
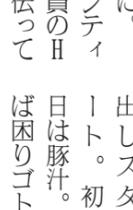
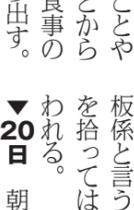
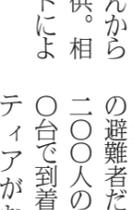
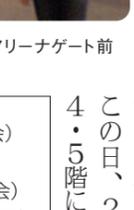
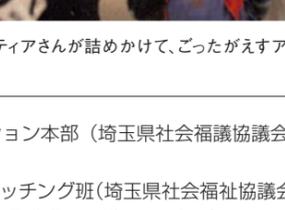
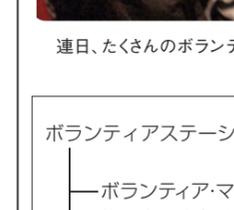
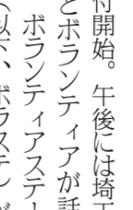
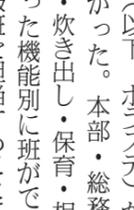
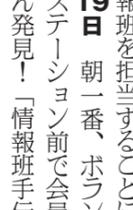
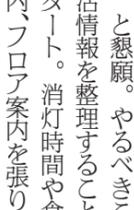
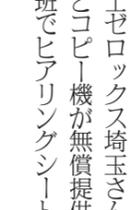
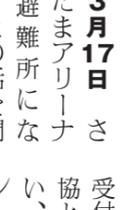
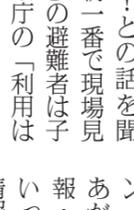
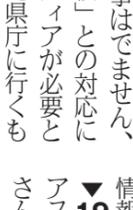
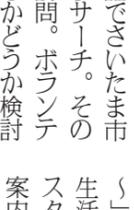
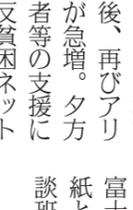
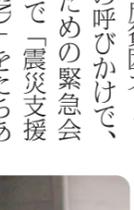
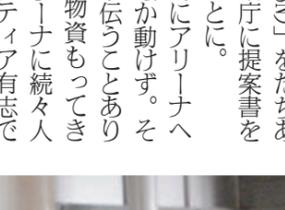
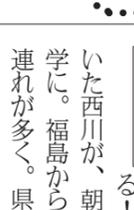
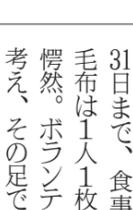
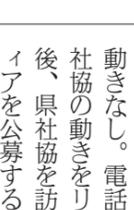
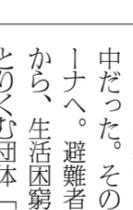
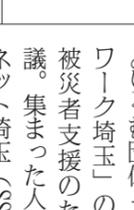
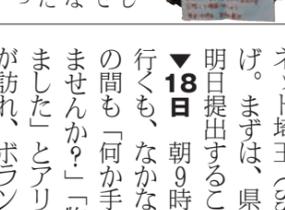
祖父や母の生まれはいわきです。子どもの頃の海水浴は、

「避難者がほし...」

「選難者がほし...」

経験となりまし... な経験をさ

話をすることが... 話をすることが



高校へ、残りは事務所を持ち帰る。最後は情報班でにっこり記念撮影。

日々、ボランティアからの苦情が殺到。避難者からではなく怒っているのはボランティアさん。「なぜ、ボランティア

「いや、おめさま、な...」

「選難者がほし...」

「選難者がほし...」

「選難者がほし...」



「選難者がほし...」

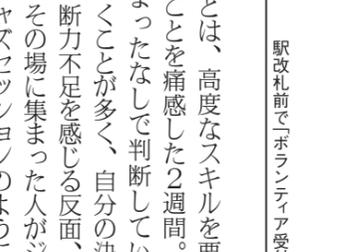
「選難者がほし...」

「選難者がほし...」

「選難者がほし...」

「選難者がほし...」

「選難者がほし...」



「選難者がほし...」

「選難者がほし...」

「選難者がほし...」

「選難者がほし...」

「選難者がほし...」

「選難者がほし...」



「選難者がほし...」

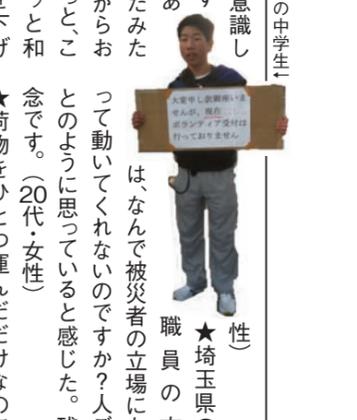
「選難者がほし...」

「選難者がほし...」

「選難者がほし...」

「選難者がほし...」

「選難者がほし...」



「選難者がほし...」

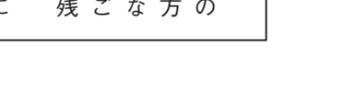
「選難者がほし...」

「選難者がほし...」

「選難者がほし...」

「選難者がほし...」

「選難者がほし...」



「選難者がほし...」

「選難者がほし...」

「選難者がほし...」

「選難者がほし...」

「選難者がほし...」

「選難者がほし...」

駅改札前でボランティア受付は行っておりません。という看板をもつボランティアの中学生

どんなだったの？ さいたまスーパーアリーナ

三月一八日から三日までの二週間、ハンズオン埼玉の面々は、さいたまスーパーアリーナでボランティアをしました。「ボランティアステーション」の「情報班」として、たくさんの若い人たち(だけではないですが)とともに活動しました。「ボランティアステーション」は、社会福祉協議会、NPO、ボランティア団体、そして圧倒的な数の個人ボランティアの混成チーム。集まった人で一から活動と組織をつくりました。たくさん

「わたしはハンズオン」(参照)をはじめ、ボランティアに行きたかった、行ってみたいけどできなかったという多くの方の「アリーナはどうだったの？」という声をお聞きしたからです。

県内にはまだ避難所だけで二千人(五月二日現在)を超えている被災者・避難者の方々がおり、先行き不透明なままに非難生活の長期化が予想されています。これからも、私たちなりにできることを探して、行動していきたいと思えます。会員の皆さまにも呼びかけていきます。どうぞよろしくおねがいします。(西川)

クイックで報告をさせていた... だくことにしました。会員で福島出身の谷田部さん(四ページの「わたしのハンズオン」参照)をはじめ、ボランティアに行きたかった、行ってみたいけどできなかったという多くの方の「アリーナはどうだったの？」という声をお聞きしたからです。

お金や体力が貧弱なのが申し訳ないです。皆さんちょっとでも笑える明日になるように祈っています。うつくしまふくしま、大好き東北！(おゆう)

お金や体力が貧弱なのが申し訳ないです。皆さんちょっとでも笑える明日になるように祈っています。うつくしまふくしま、大好き東北！(おゆう)

出会った人の話、嬉しいと思ったエピソード/気づいたことなど

(3月29日~31日 ボランティアステーションで集めた感想より一部抜粋)

★自分では全く意識しなかったのです。ちゃんに「あーんたみたいにニコニコしながらお世話してくださって、こちの気もスツツと和みますすわ」と頭を下げられてしまった。笑いながら涙が止まらなかった。(情報班・40代・男性)

★ボランティアとは...という考えが、ずっと頭にありました。親切の押し売りの方もいれば、心から力になろうという方もいれば、文化祭か何かとカンチガイしている方もいる。広くボランティアを募集するの、考えものなのでは？と思いましたが。(福祉班・20代・女性)

★バスで出発する時、外からお見送りしたら、乗っていた方々に、頭を下げられて感謝していただいたとき、こんなことしか出来ない自分では思っていたけれど、嬉しい気持ちになりました!! (駐車場担当・20代・女性)

★神戸から夜行バスで来ました。沢山の方がボランティアをしているのを嬉しく思いました。救護班の手伝いをしました。看護士さんたちのきびきび動いているのに感心しました。(救護班・40代・男性)

ボランティアのアンケートより

情報班 ダイジェスト

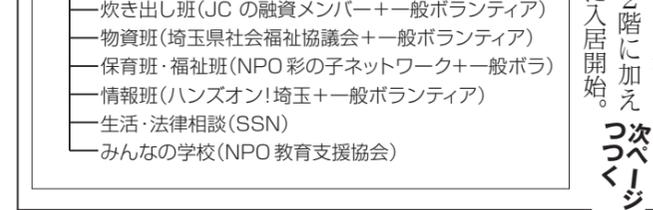
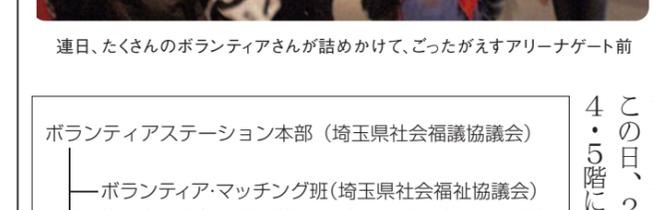
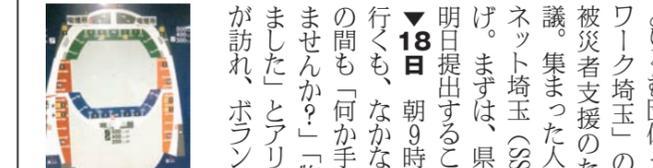
▼3月17日 さいたまアリーナが避難所になった話... いた西川が、朝一番で現場見学。福島からの避難者は子連れが多く、県庁の「利用は31日まで、食事はできません、毛布は1人1枚」との対応に愕然。ボランティアが必要と考え、その足で県庁に行くも動きなし。電話でさいたま市社協の動きをリサーチ。その後、県社協を訪問。ボランティアを公募するかどうか検討中だった。その後、再びアリーナへ。避難者が急増。夕方から、生活困窮者等の支援にとりくむ団体「反貧困ネットワーク埼玉」の呼びかけで、被災者支援のための緊急会議。集まった人で「震災支援ネット埼玉(SSN)」を立ちあげ。まずは、県庁に提案書を明日提出すること。

▼18日 朝9時にアリーナへ行くも、なかなか動けず。その間も「何か手伝えることありませんか?」「物資もつてきました」とアリーナに続々人が訪れ、ボランティア有志で

▼19日 朝一番、ボランティアステーション前で会員の皆さん発見!「情報班手伝って」と懇願。やるべきことや生活情報を整理することからスタート。消灯時間や食事の案内、フロア案内を張り出す。富士ゼロックス埼玉さんから紙とコピー機が無償提供。相談班でヒアリングシートによる聞き取り開始。午後には埼玉県社協とボランティアが話し合い、ボランティアステーション(以下、ボラステ)が立ち上がった。本部・総務・情報・炊き出し・保育・相談といった機能別に班ができる。情報班を担当することに。

▼20日 朝の時点で八〇〇人の避難者だったが、昼には二〇〇人の双葉町民がバス四台で到着、荷物運びボランティアがお出迎え。この日、2階に加え、3階、4・5階に入居開始。

▼21日 朝の時点で八〇〇人の避難者だったが、昼には二〇〇人の双葉町民がバス四台で到着、荷物運びボランティアがお出迎え。この日、2階に加え、3階、4・5階に入居開始。



ボランティアステーション本部 (埼玉県社会福祉協議会)

ボランティア・マッチング班 (埼玉県社会福祉協議会)

炊き出し班 (JCの融資メンバー+一般ボランティア)

物資班 (埼玉県社会福祉協議会+一般ボランティア)

保育班・福祉班 (NPO 彩の子ネットワーク+一般ボラ)

情報班 (ハンズオン!埼玉+一般ボランティア)

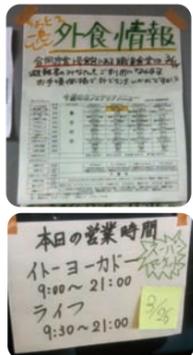
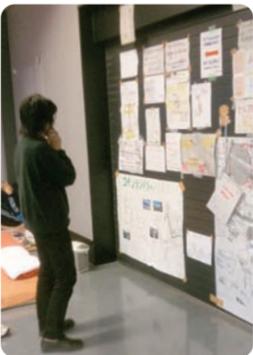
生活・法律相談 (SSN)

みんなの学校 (NPO 教育支援協会)



ひっきりなしに救援物資を届けてくださる方がつづいた。

階段の長さに愕然。二〇〇〇人を超える巨大避難所になり、掲示板も各フロア5カ所に増設。食事・洗濯・ふる・計画停電・救護室・物資提供など、案内を紙に書いては張り出し、アナウンス。福玉ボード（下欄「広報世界遺産」参照）もスタート。銀行・コンビニ・コインランドリーなどの情報をマップにして配布。



▼26日 昼にモスバーガー五〇〇食、夜はコーンスープ。退館する方が増え2階の空きスペースが目立ってくる一方で、双葉町からの避難者は増え続けていた。加須出身ユースで「騎西のまちはこんなところマップ」作成。
▼27日 アリーナ相談一覧が完成し、配布。やっと館内の支援やサービスの概要が明らかになる。



「ここは生活の場です」と入場制限の張り紙

▼21日 掲示物がひと段落。計画停電とお店情報の掲示がルーチン化。コンセントをシェアできるよう延長コードも設置。早くも2階には空きスペースが出始める。本部をはじめ各部署で、社協の職員さんが毎日、応援に来てくださるのはありがたいのだが、日替わりで担当ということになるので、前日までの経験がうまく活かされていないことも多かった様子。

▼22日 「おふる情報センター」立ちあがる。福玉ボードを福島の人といっしょにつくろうと、福島の人に折り紙を折ってもらうこと。

▼23日 福玉ボードにひきつづき取り組む。ハローワークの説明会など、労働相談など避難所を出た後の相談へと移行していく。双葉町長が、四月以降は旧騎西高校に移転することを発表。

▼24日 炊き出し班×モスバーガーによるコーンスープの炊き出し。透析患者の食事調整が始まる。ボランティアによる床屋がオープン。多数のボランティアが館内に入ることで、落ちついて休めないなど居住環境が改善されないことが課題に。入場制限を提案するもなかなか規制できず。騎西の避難所で配慮が必要だと思われることを書き出すも、県庁とそ

の提案をすりあわせることができなかった。
▼25日 ボランティア

情報班便利グッズベスト5

- ①位 ガムテープ (布・紙)
②位 マジック (黒・カラー)
③位 コピー用紙 & コピー機
④位 地図
⑤位 緑エプロン

【注】①ダントツ位。②油性・水性両方。③掲示は紙の大きさと掲示方法の統一がポイント、掲示の日付も大事です。④銭湯、銀行・郵便局、コインランドリー、スーパーマーケット、病院はすごく重要。⑤「6号線沿線」という言葉も忘れられない。⑥福島の女性たちのエプロン姿も。選外1:段ボール&段ボールカッター「段ちゃん」 選外2:近隣の計画停電情報 選外3:模造紙



みんなで相談して地図づくり

▼31日 朝から続々人が出て行く。昨日までの喧嘩がうそのように、昼過ぎにはほとんど人がいなくなつた。最後の仕事は、玉ボードの片付け。半分は騎へつづ



広報世界遺産 福玉ボード

福島と埼玉の気持ちを結ぶ「福玉ボード」。一方通行の応援ボードでなく、お互いのエールの交換ボードにしたいと最初にこの名前に決めました。

支援する人される人という関係を越え、これから、暮らして「ともに」創り合う仲間になりたいから。そこには意見とか、要望とかじゃなく、「つぶやき」や「ため息」にこそ感じられる何かを、お互いに「知る」ことから始めたいと願って生まれました。

三月二日初めて、ケヤキ広場に一〇メートルぐらいの模造紙を置き「ひとことお気持ちはどうぞ」とスタンプが声かけするやいなや、老若男女三三たちがわっと集まり三分もしないうちに……絵、そして折り紙の花や鳥でうまっています。

「お母さんが福島出身です。今は電気をもらってる埼玉です。自分でできること一杯がんばります。」という埼玉の方の言葉の横に福島の「みなさんいつか遊びに来てくださいな」という言葉が並んだ。

福島のみなさんからのメッセージ

◎自宅は半壊し、友人知人の安否も分からず、原発の恐怖にさらされながらの生活は本当に地獄のようでした。小さい子供を抱え、親戚もいない埼玉の地に避難するには不安がありました。皆様にあなたを歓迎して頂き、ある方に「大丈夫、いわきは必ず復興します」と力強い励ましを頂き、涙が出そうになった事を忘れることができません。震災で失った物も多く、辛い、悲しい事は沢山ありましたが、埼玉で得る事のできた人とのつながりや、人を思いやる気持ちは、地震や津波では壊されない、お金よりずっと大事な私の宝となりました。

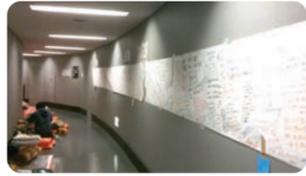
◎原発事故で大好きな故郷を離れなくてはならず、とても気持ちが塞いでいたのですがスタッフの方から頂いた「埼玉を第二の故郷だと思って下さいね」という言葉に心が晴れました。前を向いて、がんばります。

◎何もなくなった私の心を、埼玉の皆様がとても温かくしてくれました。今は不安や悲しみもあり、本当の意味で心の底から感謝できていないかもしれませんが、ただ、ゆっくり時間をかけて心を取り戻し、皆様からもらった大きな愛を、いつの日か自分もまた違う誰かにプレゼントできるように、なりたい。ここにきてよかった。出会えてよかった。生き抜いていきます。

◎みなさんの笑顔や優しさにどれだけ勇気づけられたか……。これから福島に戻り、以前より美しい海や山、川



今一緒にいたい人はだれですか？ ふるさとって何ですか？ ;お互いのいろいろな気持ちをめいっぱい想像力をもって聴く努力をしていきたいです。電線だけのつながりを越え、これからは福島と埼玉が励まし合えるつながりの原動力となっていくために。(吉田)



窓がなかった5F奥の貼り付けると、「これはいい、ありがとう」との声が。



おばちゃんも子どもたちも、たくさんの方が描いてくださいました。



きましよう。(S.A)